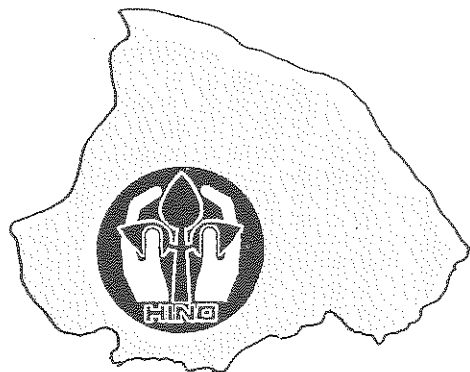


発行 日野市環境緑化協会
〒191 東京都日野市神明1-12-1
日野市役所公園緑政課内
電話0425(85)1111 内線383

会報 創刊号

昭和62年6月25日



願いをこめて

62・4・18



いじめごころ

会長 萱嶋 泉

かねがね日野市当局におかれては、緑化推進運動を熱心に行っていました。そのために、他には見られない緑の豊かなまちづくりができました。しかし、この美しい環境をさらに良いものにするには、私共市民の一人びとりが英知をだし合って、市内の緑化に取りくむ必要があります。それには市民総ぐるみで緑を大切にし、緑を育てあげ、この緑のもたらす恩恵に浴したいもの

かねがね日野市当局においては現在もお真剣に緑化に取りくんでいます。その活動も市民も一緒になって手伝い、この緑化運動に一層の力をそぎたいものです。この市民の願いがかなって日野市環境緑化協会が設立されました。この協会の趣旨を深くご理解下さいまして、進んで行事に参加し、意見を述べて頂きたく思います。この協会の会員は、あなたです。市民全員です。

日野市環境緑化協会の発足にあたって

日野市長 森 田 喜美男

市民ぐるみで「みどりのまち」を整えるために、日野市環境緑化協会が発足し、その運動に激励をおくる次第です。当市は、十五万人余の市民と共に、健康で文化的な市民都市に向かって前進しております。環境緑化協会の発足は市民みんなが力を合わせて、「ふるさとづくり」に取りくんで行こうとの、意気込みの現われといえるものです。緑を環境の主役にするまちづくりこそ、健康で文化的な基礎条件と考えられ、当市の

目指す都市像である「緑と文化の市民都市」のスローガンが市民運動によって支えられ行動化できる参加のシステムが、この協会の任務です。

当協会は、緑化増進のための、(一)普及啓発、(二)実践事業(三)調査活動、(四)諸団体との交流と協力を基本項目とし、各種の個別事業を實踐し、運動展開のセンターとなります。

市は、所要経費の負担と、事務局体制の充実を図るなど対応してまいります。

日野市環境緑化協会の設立経過

一、日野市環境緑化市民会議

発足(59・11・24 37名)
公開シンポジウム「環境と緑化の道」自由討議ほか

二、有志者による取りくみ

(61・4・5以降 16名)
基本事項(会則、事業内容、予算等)検討

三、全体会(日野市環境緑化市民会議)による検討

(61・7・19以降)

設立総会のあらまし

昭和62年4月18日午後、日野市環境緑化協会の設立総会が、市民会館小ホールで開催されました。

参会者は約100人。行楽日和の土曜の午後にしては、この日のために準備を重ねた事務局一同、ほっとひといき。

自治会、老人クラブ、農業団体等、各団体のメンバーのほか、「広報ひの」を見てかけつけた市民も多く見受けました。

定刻、伊藤建設部長の司会により、記念すべき設立総会の議事がすめられました。

市長のあいさつ(要旨)

(一)、二年前に準備会(市民有志、後に緑化市民会議が発足)は、緑化運動による町づくりは息の長い仕事。そのエネルギーを保つには、市民参加が大きい力となる。その手段としてどんな組織が必要か。検討を続けた。

(二)、その結果、全市民が会員各団体が骨格となり、二人一人が積極的に参画し、汗を流して、緑のまちづくりを推進する母体として協会の姿が固まってきた。

(三)、本日、設立総会という形で市民の皆さんのご審議を賜ることとなった。積極的なご支援をお願いしたい。

次に荻嶋泉氏(準備会のメンバー)が議長に選出され、議事が進行していききました。

議案は、協会会則、理事・役員を選任、62年度の事業計画、予算等でありましたが、

参会者から「みどりを育てる水の問題をどう考えるか」「日野を緑と清流を感じるまちに

「植物の名を持った通りを」「みどりを通して道徳心の昂揚を」等々質問、意見が続出し、関心の高さと責任の重さを強く感じました。

これらの議案はすべて承認され、万場の拍手で協会の設立が認められました。

このあと、協会旗の披露が行われ、シンボルマーク公募に入選された岩倉昌彦、武田弘、落合健の三氏に初代荻嶋会長から賞状を贈呈しました。最後に、市議会議長黒川重憲氏、東京都環境保全局坂本和彦氏から当協会への期待をかけた祝辞をいただき、盛会のうちに第一部を終了しました。

第二部は「みどりの町づくり」と題して、東京農業大学教授進士五十八先生の講演がありました。約一時間を通して、歯切れのよい明快な論理で●日野の原風景を大切に●協会は何をやるか、何がやれ

るか●緑を媒体とした楽しい遊び●役員だけにまかせない運動を●子供達には野性体験が必要●アイデアを出し合う●緑とのつき合い方を考えよう●日野型のライフスタイル等々について話をされました。豊富な内容で、協会の進むべき方向を考える上で非常に有意義な講演会でした。

ウメと緑と友たちと5・10



記念植樹あれこれ

総会当日、式典、基調講演に引き続き、日野中央公園でカヤ(樺)の木(イチイ科)の記念植樹を行いました。市民の皆さんのスコップを握る手も力強く、協会にかける思い入れをうかがうことができました。(表紙の写真参照) 植樹場所は、中央公園内に格好なところが得られました。樹種の選定には苦心がありました。市当局では、同公

園の芝生広場を条件として、(一)背後の落葉樹(桜)に映え、(二)古来から人間生活と深いかわりを持ち、(三)自然樹形で雄々しくそびえる等の理由から、最終的にカヤの木に決定しました。

このカヤの木は、樹令二十余年余、丁度、日野市市制施行以来の年数に相当し、エネルギーを貯える青年期そのままに、ともどもの成長が期待されます。

緑は

- 緑は 心の安らぎ
- 緑は 生命の根元
- 緑は 安らぎのシンボル
- 緑は 人の心の休息所
- 緑は わたしの生きる証明
- 緑は 心のふるさと
- 緑は 私たちのなかま
- 緑は 私のいのち
- 緑は こころのいずみ
- 緑は 私たちの母
- 緑は くらしの基本
- 緑は 地球の財産
- 緑は 私たちの生きる力
- 緑は こころのデザート
- 緑は 私たちの生きる喜び
- 緑は 生命のみなもと
- 緑は 市民の合言葉
- 緑は 地球のパイロット
- 緑は われらの母胎
- 緑は 生活のシンボル
- 緑は ふれあいの手段
- 緑は 生活の常備薬

緑は 宇宙の母だもの
緑は 水と吾等の生みの親
緑は 自然の親方さ
緑は いのちのシンボル
緑は ふれあいの源泉
緑は 生活のやすらぎ
緑は 文化のパロメーター
緑は 平和のいしずえ
緑は 安らぎの主役
緑は 文化のあかし
緑は 市民生活のない手
緑は いのちのパロメーター
緑は 地球のいのち
緑は 日野市の生命
緑は いのちのいずみ
緑は いのちのみなもと
緑は 大気の根源
緑は 自然のシンボル
緑は 健康の泉
緑は 街のうるおい

右に書き並べた緑の標語は、総会の受付けで参会者の方々にお願ひし、終了時にいただいたアンケートの回答です。始めの三つは複数、あとはすべて単数で順不同です。みどりに対する日頃の考え、憧憬、謝意、期待、願望等の、また総会一部、二部を通してハッとひらめいたと思われる言葉が溢れています。この標語一つ一つをお互にかみしめて、今後、私達が仕事を進めて行く場合の相言葉にしたいと思ひます。ありがとうございます。

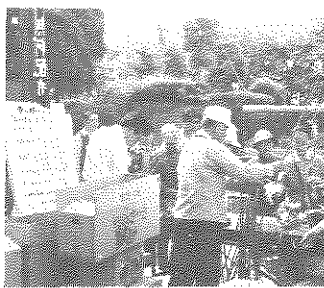
春の緑化月間行事

行事名	日時	場所	内容
家庭緑化の日	5月10日(日) 午前9時～午後3時	日野中央公園	1.苗木無料配布 フンゴウメ、ベニドウダン 2.園芸相談 草花、植木、花卉 3.即売 花卉、肥料、植木 4.図書販売 新・日野の植物ガイドブックほか 5.緑の羽根募金
園芸講座	5月15日(金) 午前10時～12時	日野市中央公民館	第1部「エビネの育て方ふやし方」 講師 橋本 貞夫
	5月22日(金) 午前10時～12時(金)	日野市緑化センター (日野中央公園西側)	第2部「生け垣の作り方と手入れ」 講師 熊沢 俊一郎
地域緑化・緑地清掃の日	5月17日(日) 午前10時～午後12時	地域緑化3か所 緑地等清掃 5地域と11公園	1.地域緑化 2.地域清掃 1)程久保小学校 1)地が丘グリーンベルト 2)平山台小学校 2)東光寺緑地 3)第八小学校 3)東豊田緑地(保全地域) 4)七生丘陵散策コース 5)吹上公園(ほか10公園)
自然教室	5月24日(日) 午前9時～午後3時	百草園駅～大宮神社～百草園～百草自然公園～湯沢全館～多摩動物公園前	自然観察会 テーマ「七生丘陵に自然を求めて」全長5km 解説 日野の自然を守る会
盆栽山野草展	5月9日、10日 午前9時～午後4時	市役所 101会議室	春の盆栽と山野草の展示
パネル展	5月1日～30日 午前9時～午後4時	市役所 1階ホール	写真展「晩春から初夏への雑木林の花々」

主催・日野市環境緑化協会 後援・日野市

緑化月間行事(春から夏へ)

例年四月に実施してきた春の緑化月間の行事は、当協会の設立準備等の関係で本年は五月になりました。
三五〇人以上の市民の方
期間 昭和62年5月1日～5月31日
テーマ まちに緑と清流をノ
暮しに花とうるおいをノ
々の協力、参加を得て各種行事を無事終了できましたが、反省点も多くありました。
◎家庭緑化の日―準備した苗木二二〇〇人分が約二時間で配布が終わりました。その後、順調に育っているでしょう



大きく育てて 5・10

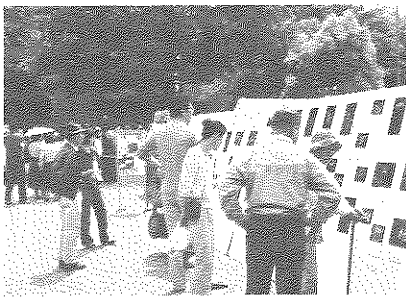
うか。園芸相談、緑の羽根募金等、ご苦労様でした。
◎園芸講座―エビネの部は申込開始日の午前中に定員を越えるほど、また、生け垣の部では、しゅろなわの結び方や剪定のコツ等をじっくり実習できました。
◎地域緑化・緑地清掃の日―あいにくの雨。各自治会、老人クラブ等では別の日に行いました。
◎自然教室―くもり空にかかわらず40人参加、各部門の解説も懇切、丁寧。七生の散歩道を再認識する日でした。
◎盆栽山野草展―400人近い人達の目を惹きました。
以上、折にふれて、はげまし、おしかりの貴重なご意見をいただきました。これらを参考にして秋の行事の検討をすすめています。アイデアをお聞かせ下さい。(直接または各役員へ4頁―あて)



七生の丘の植生は... 5・24

パネル展を終えて

協会初の緑化月間行事で、私共4人の撮影した植物写真を、市民の多数の方にご覧いただくことができました。
対象を「晩春から初夏への雑木林の花々」に絞ったので、早春のカタクリやスミレたち、路傍や野原など、低地に多いタンポポ、ハコベ、ハルジオンなどの花は割愛しました。
この頃の雑木林は、一斉に萌え出した若葉で匂うばかりの緑に包まれて活気に満ちており、や、暗くなつた林床では、思わず足をとめるような色や形の花との出会いもあるが、雑木林で実際の花を



身近かな日野の植物たち 5・10

ご覧いただけたでしょうか。
雑木林の散歩は、早春、新緑、緑陰、紅葉、落葉と四季それぞれに心安らぐ詩趣が味わえ、楽しいものです。また低地には住み場所を異にして様々の植物が生育しており、注意深く歩くと新たな発見があります。日野の植物は約千種近くありますが、私共は市の委嘱でこれらを網羅的にスライド写真に収めるよう、先に植生調査をした播本を中心に進めておりますので、今後折を見てその時期の植物を選んでお目に掛け、自然観察のお役に立てたいと存じています。
日野の自然を守る会
酒井藤夫 成島忠之
播本正常 右田 実
(お気づきの点がありましたら、協会事務局までご連絡下さい。)

日野市環境緑化協会会則 (抜粋)

役員名簿

(目的)
第2条 この協会は、日野市民総ぐるみにより市内の緑化を推進し、緑と清流のあるうおい豊かな都市環境づくりを目的とします。

(事業)
第3条 この協会は、前条の目的を達成するため、次の事業等を行います。

- (1)緑化推進のための普及啓発
(2)緑化推進のための実践事業
(3)緑化推進のための調査活動
(4)その他、諸団体との交流と協力等、協会の目的を達成するために必要な事業

(会員)
第4条 この協会の会員は、市内に在住、在勤、在学する人及び自治会並びに市内に所在する各種団体、会社、事業所、学校等で、この協会の目的に賛同して入会する個人及び団体等とします。

(理事)
第5条 この協会に理事20人以内を置きます。
2 理事は、会員(団体等にあつては、団体等から選任された人)の互選とします。

3 理事の任期は、2年とします。ただし、再任を妨げません。

(経費)
第12条 この協会の経費は、補助金及びその他の収入をもって充てます。

Table with 3 columns: 役職, 氏名, 所属. Lists board members including 会長 菅嶋 泉, 副会長 柴崎 亮助, etc.

協会の象徴

シンボルマーク制定

二年以上に及んだ協会の設立準備の仕事の一つに、シンボルマーク制定がありました。緑と清流のうおい豊かな環境づくりを旨とする協会に、ふさわしいものをと、市民公募の方法をとりました。

設立準備がなれば進行した昨年7月「広報ひの」で募集をお知らせしたところ、全部で16点の力作が、寄せられました。これらの作品は、緑化市民会議全体会で慎重に選定され、その上位の中から専門家の補作を経て、設立総会で認定されました。それが市内日野の岩倉昌彦さんの作品です。

表紙左上に掲載してあるマークのかこみは、日野市の行政区域をかたどっています。



シンボルマーク公募に入選して

岩倉 昌彦

緑を慈しみ、はぐくみ、共に生きようとする人間の感情を手の形で表現した作品です。樹木の寿命は、人間の寿命

をはるかに越えています。緑をはぐくむ大切さを実践を通して次代に伝えることが、真の緑化運動であると、考えます。このマークには、そんな願いも込められています。

この会報に

名前をいけて下さい

「全市民の協会」にふさわしい明るい、希望に満ちた会報の名前を募集します。多数のご応募を待っています。

▼ハガキに会報の名前(三つ以内)、応募者の住所・氏名、電話番号を記入して、昭和62年7月末日までに投函して下さい。

▼送り先 〒199日野市神明二丁目12-1 日野市役所公園緑政課内 日野市環境緑化協会

編集のあとに

本号は、当協会の設立記念として発行しました。第二号は、63年度に発行予定ですが、協会の行事などはその都度「広報ひの」でお知らせしますので、ご覧下さい。

協会 会報に対するご意見、ご要望をお寄せ下さるようお願いいたします。

(編集委員) ○印は委員長

- 田中紀子 柴崎亮助
高橋英昭 ○伊藤正吉
小澤義文